

「みやぎSDGsアンバサダー」が実践報告



「みやぎSDGsアンバサダー」の認定者数が100人を突破したのを記念し、10月3日、「サステナ経営実践カンファレンス」が開催されました。

この日会場となった河北新報社に集まったのは、「みやぎSDGsアンバサダー」や県内の企業の経営者、自治体職員など約50人。そのうちの7人が、所属企業のSDGs関連の取り組みや、「みやぎSDGs塾」の活動から生まれた協力関係などについて報告しました。

「交流から広がる「共創圏」(国分東北)」食品卸業などを営む国分東北の佐藤悟さんは、従来のビジネスの枠組みを超えて他社・団体と連携し新たな価値を創造しようとする同社の理念「共創圏」について説明。仙台高校、南三陸高校の探究学習への協力や、尚絅学院大学の学生団体との連携などを紹介し、「みやぎSDGs塾」での交流が具体的な連携につながり、「共創圏」が広がった」と話しました。

「社内の活動環境を整備(山大)」石巻市で木材生産などを営む山大の本郷友恵さんは、「みやぎSDGs塾」での学びを通じ、取り組みを進めるには一人ひとりが「アンゴト」として捉える必要があるのだと「気づいた」と話します。同社で



国分東北の佐藤さん

「越境」から生まれる連携(DNP)」DNPコミュニケーションデザインの矢島迅人は、「みやぎSDGs Farm」を「新たな人脈・視点・価値創造を生む「越境の場」として位置づけます。越境」がもたらした連携の例として矢島さんは、障害のある人の就労の場として日建リース工業が運営する「は」とふる農園(名取市)を同僚らと見学した経験を紹介。「越境」が、自社内の風土に良い影響を及ぼしている」と話しました。

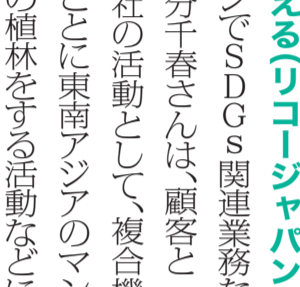
「顧客と共に考える(リコージャパン)」リコージャパンでSDGs関連業務などを担当する国分千春さんは、顧客と一緒に取り組む同社の活動として、複合機をIT台販売することに東南アジアのマンガロープに一本の植林をする活動などについて解説しました。また、SDGs関連の取り組みを推進する社内のメンバー「SDGsキーパーソン」が中心となって進めた顧客向けイベント「脱炭素経営セミナー」などの活動を紹介します。

「塾を通し視野を広げた(タイハク)」生コンクリートの製造・販売を営むタイハクの南條世紀さんは、「SDGs塾」で他の企業の活動に触れたことが、より広い視野で自社の取り組みを振り返るきっかけになり、「はたらく車」の価値を再確認することができた」と話します。南條さんは現在、コンクリートミキサー車に県内自治体のマスコットキャラクターを貼り付けるなどして地域の魅力を発信するプロジェクトを進めています。

最後に澤口さんと齋藤さんはSDGsとうほくの紅呂晶子さんを交えて座談会形式で対話。紅呂さんが「スイコーは社員が自然体で地域とつながる活動をしている。SKグループは社員どうしが気兼ねなく話し合える空気を感ずる」と両社の印象を伝えると、澤口さんは「弊社の店舗で自発的に地域のゴミを拾う運動が始まり、他の店舗に広まった。齋藤さんは「社員どうしの雑談が、困った時に相談できる関係性につながる」と答えました。



リコージャパンの国分さん



タイハクの南條さん



DNPコミュニケーションデザインの矢島さん

共に学び、生まれたつながり

「みやぎSDGsアンバサダー」の認定者数が100人を突破したのを記念し、10月3日、「サステナ経営実践カンファレンス」が開催されました。

賛同企業のトップ対談も

イベントの後半では、「みやぎSDGs Farm」発足当初からの賛同企業であるスイコー(建築業)、SKグループ(リース業)の2人の経営者が登壇しました。スイコーの澤口司さんは、「女性が働きやすい職場になれば、男性も働きやすくなる」という自身の理念を示しつつ、産休・育休によって他の社員の負担が増えてしまった経験などを率直に吐露。理念の実現に向けて工夫を重ねていると話しました。SKグループの齋藤孝志さんは、古紙リサイクル業を通じた地域貢献の取り組みとして、賛同企業などから回収した段ボールの売却益の一部をスポーツ少年団や子ども食堂などの地域団体の支援に活用する同社の試み「Pocci(ポッチ)」を紹介。「各団体の活動を持続可能なものにするサポートになる」と説明しました。



座談会形式で語り合う(正面右から)紅呂さん、齋藤さん、澤口さん

みやぎSDGsアンバサダーって?

「みやぎSDGs塾」の修了を条件に認定される、地域でSDGs活動を推進する人材のこと。「みやぎSDGs塾」は、国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携して豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGs Farm」の基幹プログラムとして、2021年から河北新報社が運営しています。

参加はこちらから!

公式HP <https://www.koukoku.jp/>

お申し込み・問い合わせ
河北新報社営業局
TEL / 022-211-1318
MAIL / koukoku@po.kahoku.co.jp

ますます広がる「みやぎSDGsアンバサダー」の輪



新たに「みやぎSDGsアンバサダー」に認定されたメンバー

「サステナ経営実践カンファレンス」に先立つ9月27日、第3ターム後期の最終回(第5回)となる「みやぎSDGs塾」実践コース・標準コースの講座が開催されました。標準コースの受講者は最終課題として書いた「わたしのSDGs活動宣言」を仲間に向けて発表。描写が具体的にイメージが湧きやすかった「専門用語に説明がない」と一般の読者に分かりづらい「一番伝えたいことを先に書いた方が伝わりやすいのでは」と感想や意見を伝え合いました。今回「活動宣言」の提出をもって「標準コース」を修了した13人は新たに「みやぎSDGsアンバサダー」として認定され、業務や暮らしの中でSDGs活動を広めていく役割を担うことになりました。参加者それぞれの「SDGs活動宣言」は、順次、河北新報紙面に掲載予定です。

- 第3ターム参加者(敬称略) ●
- 【あすなろ学院】齋藤学【荒町商店街振興組合】庄子康一、伊藤悠香、駿河真樹子【YES工房】大森丈広【エントワデザイン】佐藤寛和【オフィス塩騒】加藤貴伸【環境再生保全機構】【高速】高橋篤【国分東北】佐藤悟、種田美友【スタイルズグループ】千田佳子【ソニービープルソリューションズ/多賀城工場地帯連絡協議会】大谷哲也【タイハク】長坂孝裕、南條世紀、玉川知樹、加賀玲【蜂屋食品】蜂屋和彦【大日本印刷】阿部巧、小泉一也、矢島迅人、阿部颯、大沼真洋【日建リース工業】内藤健介【日立ソリューションズ東日本】小岩井尚文、大塚千翔【フクダ・アンド・パートナーズ】加藤祐、阿部真美【松島蒲鉾本舗】葛西健太郎【宮城県民共済生活協同組合】草薙聖樹、遠藤早織、長谷朋佳、佐山道大、鈴木良太、長牛麻美【ミライトス】鈴木圭介【山一地所】原田千純、熊谷健太郎【山大】高橋拓宏、本郷友恵、三上明子【WACO CREATE】岩村和哉、岩村優香【個人】千葉よかこ【尚絅学院大学】大沼晃太郎、猪野拓歩、森啓輔【宮城大学フードサービス論研究室】齋藤真里奈、曾根咲桜、高屋奏太、永澤美咲、由比一光【オブザーバー】紅呂晶子、高橋好郎、高浦康有

● 賛同企業・団体・個人 ●

株式会社 日立ソリューションズ東日本

宮城県民共済

SUIKO 大日本印刷

独立行政法人 環境再生保全機構

尚絅学院大学

日本製紙株式会社

みやぎ生協

山一地所

yamadai

あすなろ学院

エントワデザイン

株式会社 高速

国分東北

STYLES GROUP

竹鶏ファーム

日建リース工業株式会社

蜂屋食品

F&P

松島

ミライトス株式会社

荒町商店街振興組合

YES工房

オフィス塩騒

多賀城工場地帯連絡協議会

WACO CREATE

千葉よかこ

特別協力 SDGsとうほく

協力 宮城県 JICA東北 尚絅学院大学SDGsセンター 宮城大学フードサービス論研究室